

KN-1 ヘルパー乗用型野菜移植機



※仕様が異なる場合がございます。

乗用型半自動
ニラ移植機



農業機械は取扱説明書を良く読んで正しく使いたしましょう。

とくちょう

農業に関わる全ての方のヘルパー集団

Helper

■簡易半自動型にら移植機

ニラ苗を苗挟みに置くだけで、移植、鎮圧を自動で行います。

■乗用タイプ

KN-1は乗用型移植機です。フットクラッチと手元変速レバー搭載で乗りながら操作がカンタンに行えます。

■車速連動の移植ユニット

車速を変えても一定のピッチで定植が可能です。

■鉄クローラでけん引カバツグン

スリップを防ぎ、圃場の変化にも対応できる鉄製クローラを標準装備。

■2つの走行サポート

後部の尾輪とサイドの誘導輪でまっすぐ定植できます。1人での作業が可能です。

■主要諸元

型式		KN-1
機 体 寸 法	全長(mm)	2,200(作業時2,240)
	全幅(mm)	最大1,125 最小740
	全高(mm)	1,060
	重量(kg)	作業時164 運搬時182
エ ン ジ ン	型式名	GB181LN
	種類	空冷4サイクル傾斜型機軸OHVガソリンエンジン
	最大出力[kW(PS)]	4.6(6.3)
	使用燃料	自動車用レギュラーガソリン(無鉛)
	燃料タンク(L)	3.0
走 行 部	始動方式	リコイルスターター
	走行方式	鉄製クローラ
	サイド輪	3.00-8
	運搬用車輪	4.00-8(2本標準装備)
	変速段数	前進2段、後進2段(副変速含む)
植 付 部	苗受け数	11
	駆動方式	鎮圧ローラー駆動
	鎮圧ローラー寸法(mm)	φ510×巾70
	植付方法	苗 手供給 エッヂレール挟持形方式
	植付条数	1条
	適応条間(mm)	245~910
	適応溝深さ(mm)	50~200
株間(mm)	280(250,300※スプロケット交換時)	
株間調節方式	植付軸部 スプロケット交換	

※この主要諸元は、改良のため予告なく変更することがあります。



KN-1ならではの5つの特徴

作業性

- 作業者の負担を考え、作業姿勢を再検討。従来機よりも座席と苗寄せ台を高く設計。またクッション性に優れた前後スライドシートを採用し、より快適な作業環境を実現しました。



・苗寄せ台と苗狭みの高さを平行にすることで背筋を伸ばしたまま作業が可能

- ハンドル側とシート側にそれぞれにアクセルレバーを搭載。2ヶ所のアクセルで車速をカンタンに調整できます。

ハンドル側



シート側



移植ユニット

- こだわりの樹脂製鎮圧ローラーを搭載。軽量で、土が付着しにくい樹脂の特性を活かした径が大きく幅が広い鎮圧ローラーを実現。広い接地面で苗の定植時にしっかり鎮圧ができ、大きな径は均一なピッチでの植付けを可能にします。
- 別途スプロケットの入れ替えでカンタンに株間を調整できます。(250,280,300) mm



・接地面の広い鎮圧ローラーは砂地、軟弱地など様々な圃場で活躍します。



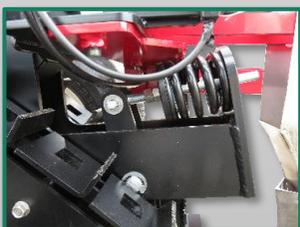
・品種にあった株間でご使用いただけます。

エンジン

- 従来機の4馬力エンジンから6.3馬力エンジンに変更。けん引力の向上はもちろん、低速走行時のトルクアップも実現。

足回り

- サスペンションの強化により耐久性が向上。石などの巻き込みによるピン切れを防ぎます。
- クローラのテンション調節がカンタンに行えます。



・サスペンションが強化されたテンション部。通常のレンチで調節が可能です。

移動

- トラックへの乗せ降ろしや移動が安全に行えるようダブルタイヤを標準装備。トラックへの積み降ろしも安心です。
- サイドクラッチ搭載で移動時、作業時の両方で旋回を手助けします。移動はもちろん定植作業時の旋回もサポート。
- 車体バランスを考えた設計で移動、旋回がラクに行えます。

